

# 1

## 栄光の輝き

主を慕い求め ほめ歌捧げ 偉大な王を 拝します  
宮に満ちている 栄光の輝き 溢れ流れ 地に満ちる

※主の栄光の 輝き放たれて  
町を照らし 町を 生かしてゆく  
永遠の光 四方八方照らす  
闇はこの光に 打ち勝てない

## のぞみも消えゆくまでに

のぞみも消えゆくまでに 夜の嵐に悩む時  
数えてみよ 主の恵み なが心はやすきをえん

※数えよ 主の恵み 数えよ 主の恵み  
数えよ 1つずつ 数えてみよ 主の恵み

夜の楽しみ 富 知識 なが心を誘う時  
数えてみよ 主の恵み あまつ国の幸に酔わん

## 求めて

あなたの声を求めて あなたの顔求めて  
あなたの心求めて 御前に出る

※すべてを委ねてすべてを捧げて  
あなたを求めて礼拝します

## 救い主イエス

その時御前に立つ 愛する聖徒と共に  
ありのままのイエスの姿驚き仰ぎみる

※礼拝します唯一の神救い主イエス  
あなただけが私の希望永遠の命

# 5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように  
= 教員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように  
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

## 5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

## 信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
- 「日本にはリバイバルが始まっています」
- 「私も用いられます」
- 「すべての問題は解決します」
- 「することなすこと、みな成功します」
- 「私のまわりには奇跡が起こります」
- 「すべてのことを感謝します」
- 「イエス様がご一緒ですから」
- 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899  
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



## 祈りの小径(こみち)

Number: 149 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2

### 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ピリピ人への手紙4章15～23節

15 ピリピの人たちよ。あなたがたも知っているとおり、わたしが福音を宣伝し始めたころ、マケドニヤから出かけて行った時、物のやりとりをしてわたしの働きに参加した教会は、あなたがたのほかには全く無かった。

16 またテサロニケでも、一再ならず、物を送ってわたしの欠乏を補ってくれた。

17 わたしは、贈り物を求めているのではない。わたしの求めているのは、あなたがたの勘定をふやしていく果実なのである。

18 わたしは、すべての物を受けてあり余るほどである。エバプロデトから、あなたがたの贈り物をいただいて、飽き足りている。それは、かんばしいかおりであり、神の喜んで受けて下さる供え物である。

19 わたしの神は、ご自身の栄光の富の中から、あなたがたのいっさいの必要を、キリスト・イエスにあって満たして下さるであろう。

20 わたしたちの父なる神に、栄光が世々限りなくあるように、アメン。

21 キリスト・イエスにある聖徒のひとりびとりに、よろしく。わたしと一緒にいる兄弟たちから、あなたがたによろしく。

22 すべての聖徒たちから、特にカイザルの家の者たちから、よろしく。

23 主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にあるように。

## 3

### 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

## 4

### みことばの解説

ピリピ人への手紙の最後の一文は、使徒パウロのお決まりの挨拶でもありますが、主イエス・キリストの恵みが「あなたがたと共に」ではなく、「あなたがたの霊(スピリット)と共に」と書かれていることに心が止まりました。

ピリピの教会のことをパウロ先生は本当に感謝して、21節にもあるように、彼らを「キリスト・イエスにある聖徒のひとりびとりに」と呼んでいます。そんな彼らの「スピリット」とは何でしょうか？

今日のテキストの15～18節にそのヒントがあります。それはどの教会の聖徒たち(クリスチャン)も持つべきスピリットでしょう。

① 宣教に参加する教会 15節

② 欠乏を補ってくれる教会 16節

③ 贈り物をする教会 18節

ここには「宣教(わたしの働き)」という明確な目的に対する積極的な応援の姿勢と、その働きに何が必要なのか、欠乏しているものは何なのかを知ろうとする気遣いと、その必要を満たすために何かしらの贈り物を届ける具体的で行動する愛を見ることができま

す。そのスピリットは「宣教の情熱」

そのスピリットは「憐みの心」

そのスピリットは「愛の実践」です。

かつて私のいたハワイの教会のスローガンは、**Passion and Compassion in Action** でした。英単語ではきれいな韻を踏んでいるのですが、それは「行動のともなった情熱と憐みの心」という意味です。

そのようなスピリットをもつ教会、私たちでありたいと願います。それは結果的に、私たちの勘定を増やしてゆく「果実(fruits)」であり、芳しい香り、神様の喜ばれる供え物です。そして、そのような私たちに、神様は「栄光の富の中から」いっさいの必要を満たして下さると約束してくださっているのです！